

2021年11月22日 公開

2022年01月17日 修正

## 第1回ラートソリューションズカップ実施要項

ラートソリューションズ

### 1. 目的

- 誰でも気軽に参加できる競技会の場、および、発表の場を設けることでラートおよびシルホイール競技者、愛好家のモチベーション向上、競技力向上を目指すとともに、日本におけるラート、シルホイールの普及、発展に貢献する。
- 審判未経験者や審判経験の少ない者が、審判経験者とともに協議しながら採点を行う機会を設けることで、審判員の技能向上および、審判育成に貢献する。
- 大会および交流の場を通して、全国のラート仲間、シルホイール仲間との親睦を深める。

### 2. 主催

ラートソリューションズ

### 3. 参加資格

オープン（どなたでも参加可能。）

### 4. 開催形式

オンライン（YouTubeライブ配信およびZoom）

### 5. 開催日

2022年3月13日（日）

### 6. タイムスケジュール

13:00-13:30 開会式

13:30-16:30 YouTubeライブ配信&グループ観戦

16:30-17:00 表彰式&閉会式

17:00-19:00 演技フィードバック&交流会

※大会当日のスケジュールは参加人数によって変更となる場合があります。確定版は別途お知らせいたします。

### 7. 部門

本大会では以下の部門を設ける。

- ラート競技部門
- シルホイール部門
- デモ演技部門
- 成果発表部門
- てんとう虫耐久レース部門

## a. ラート競技部門

### i. クラス

以下の3つのクラスに分かれ、男女混合で競う。

- ジュニアクラス(18歳以下の選手)※1
- 学生クラス(今年度のラートインカレ出場権を有する選手)※2
- シニアクラス(ジュニアクラス、学生クラスに該当しない選手)

※1 年齢については2022年4月1日時点を基準とする。

※2 インカレ出場権を有する選手とは、学生(大学生、短期大学生、大学院生、高等専門学校生、専門学校生を含む。)であり、かつ、ラートインカレ初出場の年度の始期から満4年を経過していない者が該当する。

### ii. 部

以下の2つの部を設ける。いずれか、もしくは双方に出場可能である。

- 規定演技の部([全日本学生ラート競技選手権大会競技規則2021](#))
- 自由演技の部([ラート競技採点規則2020](#))

※カッコ内に記載しているのがそれぞれの部における適用競技規則である。

### iii. 競技種目

競技種目は、直転・斜転・跳躍の3種目とする。個人戦のみを行う。

### iv. 規定演技の演技構成

規定演技は[全日本学生ラート競技選手権大会競技規則2021](#)に定められている、以下の級および技から、種目ごとに1つを選んで実施するものとする。(跳躍の場合は2回の試技が認められているため、1本目と2本目で異なる技を実施してもよい。)

直転: 1級(10.0)、2級(9.2)、3級(7.5)、4級(6.6)、5級(6.0)

斜転: 1級(10.0)、2級(7.5)、3級(5.1)、4級(3.7)、5級(2.3)

跳躍: 前方かかえこみ宙返り跳び(10.0)、開脚支持転回跳び(9.3)、開脚屈身跳び(9.0)、  
伸身跳び(8.5)、閉脚かかえこみ跳び(8.0)、開脚座り跳び(6.5)

※カッコ内の数値はその級もしくは技の満点を示す。

※斜転の演技構成については日本ラート協会発行の「級認定基準」と「全日本学生ラート競技選手権大会競技規則2021」で一部異なるため、注意すること。

申込時点で実施予定の級および技について申告する必要はあるが、必ずしも申告通りに実施しなくてもよい。また、級および技を変更する場合でも、ラートソリューションズへの連絡は不要とする。

### v. 表彰

各クラスおよび各部において、種目別上位1～3位の選手に賞状を授与し、優勝者にメダルを授与する。個人総合については、2種目以上出場した選手が3人以上いた部のみで表彰を行うこととし、その場合は、上位1～3位の選手に賞状を授与し、優勝者にメダルを授与する。

### vi. 採点方法

本大会審判員が採点を行う。審判員は選手から提出された映像を見て採点を行う。

### vii. 服装

競技用のレオタードやタイツ、コンプレッションウェアやスパッツなど、体にぴったりとフィットし、体線が見えやすい服装が望ましいが、半袖Tシャツや、短パンなど、体にフィットしていない服装での出場も可とする。ただし、その場合はひじ、ひざが隠れない丈のものを着用すること。この規程に従わず、採点ができない服装であると判断された場合、映像の再提出を依頼する場合がある。

viii. 提出映像

- 提出する映像は別途提示する撮影規程に則って撮影すること。規程が守られていない場合は再提出を依頼する場合がある。
- 撮影は選手各自が都合の良いタイミングで実施し、映像の撮り直しも可とする。
- 撮影場所は選手各自が用意すること。
- 過去映像の提出は不可とする。(2021年12月1日以降に撮影した映像であること。)
- 映像の編集は禁止とする。

ix. 参加費

選手一人につき3,000円(複数の部に出場する場合も、複数種目に出場する場合も一律。)

**b. シルホイール部門**

i. シルホイール部門について

個人でのシルホイールの演技や技を披露するための部門である。音楽に合わせた演技の他、音楽無しでの連続技、単発の技・動きなどでもよい。点数や順位は付けない。

ii. ルール

- 演技時間に制限は設けない。
- 映像の提出時に演技のタイトルと演技の説明文を提出すること。(演技の紹介で使用する。)

iii. 提出映像

- 撮影は出場者各自が都合の良いタイミングで実施し、映像の撮り直しも可とする。
- 撮影場所は出場者各自が用意すること。
- 複数回にわたる撮影、カット割り(別アングルの映像に切り替える)、複数映像を分割して同時に表示するなど、元の映像をそのまま使用しての動画編集は可とする。
- 早送り、スローモーション、色を付ける、色を変える、特殊効果をつけるなど、元の映像の内容を変更するような編集は不可とする。
- 過去映像の提出は不可とする。(2021年12月1日以降に撮影した映像であること。)

iv. 表彰

表彰は行わない。

v. 服装

服装に関しては特に規程は設けない。

vi. 参加費

無料

## c. デモ演技部門

### i. デモ演技の部について

音楽にあわせたラート、シルホイールの演技を行い、視聴者の投票により順位を競う。

### ii. ルール

- 1チームの人数は何人でもよい。(個人演技、集団演技、双方可能)
- 1チームが複数の演技で出場してもよい。ただし、その場合は出場した演技数分参加費がかかる。
- 1人の選手が複数チームに参加して出場することも可能。
- 演技時間は5分以内とする。
- 視聴者の投票により順位を決める。視聴者は演技を見て良かったと思うチーム1～3位を決めて投票を行う。投票者1人につき、1位3点、2位2点、3位1点が加算され、合計点で競う。
- 映像の提出時に演技のタイトルと演技の説明文を提出すること。(視聴者による投票時に使用する。)

### iii. 提出映像

- 撮影は選手各自が都合の良いタイミングで実施し、映像の撮り直しも可とする。
- 撮影場所は選手各自が用意すること。
- 複数回にわたる撮影、カット割り(別アングルの映像に切り替える)、複数映像を分割して同時に表示するなど、元の映像をそのまま使用しての動画編集は可とする。
- 早送り、スローモーション、色を付ける、色を変える、特殊効果をつけるなど、元の映像の内容を変更するような編集は不可とする。
- 提出された映像がこれらの条件に違反していると判断された場合、修正を依頼する場合がある。
- 過去映像の提出は不可とする。(2021年12月1日以降に撮影した映像であること。)

### iv. 表彰

1～3位のチームに賞状を授与し、優勝チームに盾を授与する。

### v. 参加費

1チーム1演技につき1,000円

## d. 成果発表部門

### i. 成果発表部門について

点数や順位は付けることはせず、ラートおよびシルホイールの技や演技を披露するための部門である。競技のルールに則った形での演技映像でも、単発の技の映像でもよく、提出する映像について制限は設けない。また、複数人による演技でもよい。

### ii. 表彰

表彰は行わない。

### iii. 提出映像

- 撮影は出場者各自が都合の良いタイミングで実施し、映像の撮り直しも可とする。
- 撮影場所は出場者各自が用意すること。

- 動画編集に制限は設けない。編集有無は自由とする。
- 提出する映像は過去に撮影したものでよい。
- 映像の提出時に演技についての説明文を提出すること。(演技の紹介で使用する。)

iv. 参加費  
無料

#### e. てんとう虫耐久レース部門

i. てんとう虫耐久レース部門について

ラートまたはシルホイールの周辺系小斜転を誰が一番長く実施できるかを競う部門である。

ii. ルール

- 周辺系小斜転の代表的な技は「小さくした左右開脚屈身立ち(俗称:てんとう虫)」であるが、1人で実施する周辺系小斜転であればよく、技の種類は指定しない。
- 使用するラートのサイズに制限は設けない。
- 演技途中での姿勢変化については中心系小斜転を挟まずに実施する分には可とする。(例:両手のてんとう虫から片手にする。片手のてんとう虫でラートを持つ手を入れ替える。下リングでのてんとう虫から上リングへのてんとう虫に移行するなど。)
- 開始と終了については、地面から完全に手足や体が離れ、ラートまたはシルホイールに両足で乗ったところを開始と判断し、大減点相当の状態(ラートの回転が完全に止まる、ラートから地面に下りるなど)になった時点で終了と判断する。

iii. 提出映像

- 撮影は選手各自が都合の良いタイミングで実施し、映像の撮り直しも可とする。
- 撮影場所は選手各自が用意すること。
- 撮り直しは可とする。
- 映像の編集は禁止とする。
- 過去映像の提出は不可とする。(2021年12月1日以降に撮影した映像であること。)

iv. 表彰

周辺系小斜転を長い時間実施できた1～3位の選手に賞状を授与する。

v. 参加費  
無料

## 8. MIP表彰

選手、審判、観客、運営スタッフなど、本大会に関わったすべての人の中から、本大会を最も盛り上げ、最も印象に残った人をMost Impressive Person (MIP)として表彰し、トロフィ(ラーソルカップ)を授与する。MIPは、選手、審判、観客、運営スタッフなど、本大会の関係者全員による投票で決定する。投票者はMIPに相応しいと思う人、1～3位を決めて投票を行う。投票者1人につき、1位3点、2位2点、3位1点が加算され、合計点が最も高かった人をMIPとして表彰する。

## 9. 参加費

出場する部門に応じて、以下の参加費を支払うこと。複数部門に出場する場合は、各部門の参加費を合計した金額となる。団体ごとの合計支払金額および支払い方法については申込期間締切後にラートソリューションズより連絡する。

- ・ ラート競技部門:選手一人につき3,000円(複数の部に出場する場合も、複数種目に出場する場合も一律。)
- ・ シルホイール部門:選手一人につき1,000円
- ・ デモ演技部門:1チーム1演技につき1,000円
- ・ 成果発表部門:無料
- ・ てんとう虫耐久レース部門:無料

## 10. 参加申込方法

[参加申込用紙](#)をダウンロードして、必要事項を記入し、Eメールでラートソリューションズ([contact@ml.wheelgymsolutions.com](mailto:contact@ml.wheelgymsolutions.com))に送付すること。送付するファイルの先頭には、以下の例のとおり団体名を記載すること。

ファイル名の例:「【〇〇大学】第1回ラートソリューションズカップ申込用紙.xlsx」

なお、参加申し込みによってラートソリューションズが得た個人情報は、大会の運営上のみ用いられ、それ以外の用途には使用しない。

## 11. 審判員

審判長および審判員は、ラートソリューションズより依頼を出し決定する。

## 12. 新技申請

新技申請を行う場合は、申込用紙送付時に新技を撮影した動画を添付すること。新技の難度は本大会審判員が判断して決定し、選手に伝達する。

## 13. 申し込み期限

2021年12月26日(日) 24:00

## 14. 申込キャンセル期限

2022年2月6日(日) 24:00

※キャンセル期限以降はいかなる理由においても既納の大会参加費について返金しない。

## 15. 映像提出期限

2022年2月20日(日) 24:00

## 16. その他

- 大会にあたって、ラートソリューションズが撮影、作成した映像、写真、試合結果等の著作権は、ラートソリューションズに帰属する。
- 提出された映像は本大会のライブ配信のために編集して使用し、YouTubeにアップロードする。また、本大会の宣伝活動および今後のラートソリューションズの活動(難度ビデオの作成、ラートの普及活動、採点規則講習会など)で使用する可能性がある。

- 本大会はオンライン開催となるが、事前の練習および映像撮影時には各自で十分な感染症対策を実施すること。
- 練習中、競技中を問わず、外傷や疾病についてラートソリューションズは一切の責任を負わない。大会出場にあたっては各自傷害保険に加入すること。

## 17. 問い合わせ

不明な点の問い合わせなどは以下のメールアドレスにEメールで行うこと。

ラートソリューションズ代表 安高啓貴 ( [contact@ml.wheelgymsolutions.com](mailto:contact@ml.wheelgymsolutions.com) )

## 18. 本大会の主催団体「ラートソリューションズ」について

### a. ラートソリューションズの活動目的と発足経緯

学生主体で運営を行っている全日本学生ラート競技選手権大会(通称:インカレ)の運営負荷を少しでも減らせるよう、IT技術を使ったサポートを行いたいと考え、2018年8月8日に「ラート界IT部隊」として発足。その後、インカレおよび全日本ラート競技選手権大会(通称:全日本)で、審判用採点システム、得点速報システム、賞状作成システム等の構築およびメンテナンスを担当。2021年4月1日には日本ラート協会の新HPを作成。

IT技術を使ってのサポートに留まらず、ラート界全体の困りごとを解決できるよう活動していきたいという想いを胸に、2021年9月22日に団体名を「ラート界IT部隊」から、「ラートソリューションズ(略称:ラーソル)」に変更。新しく生まれ変わった「ラーソル」としての最初の大きな取り組みとして、第1回ラーソルカップの開催を企画し、今に至る。

### b. ラートソリューションズの構成員

安高 啓貴、白川 敦士、小出 奈実、星野 雅子、竹園 孝太郎、但馬 絵美子、堀口 文、安高 理沙、瓜兼 汐里、赤坂 俊璃

### c. 本大会特別協力

金井 茂樹

以上